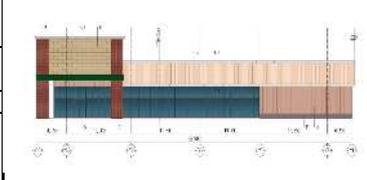


CASBEE[®] あいち

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)フィール牛川店	階数	地上2階
建設地	愛知県豊橋市牛川町字郷道5-1他 55番	構造	S造
用途地域	都市計画区域内(市街化区域)、法第22条区域	平均居住人員	50人
気候区分	7地域	年間使用時間	5,475時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2026年4月 予定	評価の実施日	2025年5月30日
敷地面積	9,924㎡	作成者	榊原 正之
建築面積	2,558㎡	確認日	2025年5月30日
延床面積	2,631㎡	確認者	榊原 正之



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 0.8</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% 超: ☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100% ②建築物の取組み 80% ③上記+②以外の 80% ④上記+ 80%</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.8</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.8</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.5</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.9</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.5</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.9</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.4</p>

3 重点項目		
<p>①地球温暖化への配慮</p> <p>3.8</p>	<p>③敷地内の緑化</p> <p>2.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p>2.8 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p>0.0 %</p>	
<p>②資源の有効活用</p> <p>2.9</p>	<p>④地域材の活用</p> <p>1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>	

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3-1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 耐用性・信頼性、Q-2-3 対応性・更新性
LR-2-2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3-1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き
 (仮称)フィール牛川店

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄		評価点	評価点	評価点	評価点	
		評価点	評価点	重み係数	重み係数	重み係数	重み係数	
Q 建築物の環境品質								2.8
Q1 室内環境								2.8
1 音環境								1.8
1.1 室内騒音レベル								0.1
1.2 遮音								3.0
1 開口部遮音性能								0.4
2 界壁遮音性能								1.0
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								-
1.3 吸音								1.0
2 温熱環境								2.6
2.1 室温制御								0.3
1 室温								0.5
2 外皮性能								3.0
3 ゾーン別制御性								3.0
2.2 湿度制御								3.0
2.3 空調方式								3.0
3 光・視環境								3.0
3.1 昼光利用								0.5
1 昼光率								3.0
2 方位別開口								-
3 昼光利用設備								3.0
3.2 グレア対策								-
1 昼光制御								5.0
3.3 照度								3.0
3.4 照明制御								3.0
4 空気質環境								3.5
4.1 発生源対策		内装材はF☆☆☆☆製品を使用している						0.2
1 化学汚染物質								0.5
4.2 換気								3.0
1 換気量								0.3
2 自然換気性能								3.0
3 取り入れ外気への配慮								3.0
4.3 運用管理								0.2
1 CO ₂ の監視								3.0
2 喫煙の制御		喫煙コーナーを設けていない						3.0
Q2 サービス性能								3.2
1 機能性								3.1
1.1 機能性・使いやすさ								0.4
1 広さ・収納性								0.4
2 高度情報通信設備対応								3.0
3 バリアフリー計画		独自						3.0
1.2 心理性・快適性								0.3
1 広さ感・景観 (天井高)		天井高 4.465~5.995						0.3
2 リフレッシュスペース								3.0
3 内装計画								3.0
1.3 維持管理								0.3
1 維持管理に配慮した設計								3.0
2 維持管理用機能の確保								3.0
2 耐用性・信頼性								3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振								0.3
1 耐震性(建物のこわれにくさ)								0.4
2 免震・制震・制振性能								3.0
2.2 部品・部材の耐用年数								0.3
1 躯体材料の耐用年数		②						3.0
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔								3.0
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔								3.0
4 空調換気ダクトの更新必要間隔								3.0
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水B、排水B、空調B						5.0
6 主要設備機器の更新必要間隔								3.0
2.4 信頼性								0.1
1 空調・換気設備								3.0
2 給排水・衛生設備								3.0
3 電気設備								3.0
4 機械・配管支持方法								3.0
5 通信・情報設備								3.0

3 対応性・更新性			0.2	3.6	0.29	-	-	-	3.6
3.1 空間のゆとり			0.3	5.0	0.31	-	-	-	
1 階高のゆとり				5.0	0.60	-	-	-	
2 空間の形状・自由さ			3.0	5.0	0.40	-	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	3.0	0.31	-	-	-	
3.3 設備の更新性			0.3	3.0	0.38	-	-	-	
1 空調配管の更新性			-	3.0	0.17	-	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	3.0	0.17	-	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	3.0	0.11	-	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	3.0	0.11	-	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	3.0	0.22	-	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	3.0	0.22	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	-	0.30	-	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出			独自③	2.0	0.30	-	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			独自④	3.0	0.40	-	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				0.3	2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			独自④	3.0	0.50	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				2.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性									2.9
LR1 エネルギー					0.40				2.5
1 建物外皮の熱負荷抑制				3.0	1.0	0.30	-	-	1.0
2 自然エネルギー利用				3.0	3.0	0.20	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEI=0.78	3.0	3.4	0.30	-	-	3.4
4 効率的運用				0.2	3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				1.0	3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング				3.0	3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制				3.0	3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	-	-	
4.1 モニタリング				-	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制				-	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル					0.30				2.9
1 水資源保護				0.1	3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 節水				3.0	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				0.6	3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	3.0	0.67	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				0.6	2.7	0.63	-	-	2.7
2.1 材料使用量の削減				-	2.0	0.07	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				-	3.0	0.25	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			② 独自	-	3.0	0.21	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				3.0	1.0	0.21	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			独自	3.0	4.0	0.25	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				0.2	3.0	0.22	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				0.6	3.0	0.68	-	-	
1 消火剤				-	-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)				-	3.0	0.50	-	-	
3 冷媒				3.0	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境					0.30				3.4
1 地球温暖化への配慮			①		3.8	0.33	-	-	3.8
ライフサイクルCO2排出率80%									
2 地域環境への配慮				0.3	3.5	0.33	-	-	3.5
2.1 大気汚染防止				-	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				-	3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				0.2	3.2	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			独自	-	3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制				-	3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			独自	-	5.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制				-	2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				0.3	3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				0.4	3.0	0.40	-	-	
1 騒音			独自	-	3.0	1.00	-	-	
2 振動			独自	-	-	-	-	-	
3 悪臭				-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				0.4	3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制				-	3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制				-	-	-	-	-	
3 日照障害の抑制				-	3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				0.2	3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				-	3.0	0.70	-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策				-	3.0	0.30	-	-	

重点項目スコアシート
(仮称)フィール牛川店

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.8
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.8	0.10	
② 資源の有効活用				2.9
Q2-2	耐震性・信頼性	3.0	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.6	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.7	0.19	
③ 敷地内の緑化				2.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	外構緑化:2.8%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用				1.0
		(評価ポイント)		
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 $\frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{重みの総和}}$

重点項目スコア=

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称)フィール牛川店

計画上の配慮事項	
総合	節水機器の採用やLED照明の採用、燃焼機器の不使用などにより、環境に配慮している。また植栽の計画により、良好な景観を形成している。
Q1 室内環境	快適な空調環境が整えられている。
Q2 サービス性能	天井高さを確保し、開放的な店内にしている。
Q3 室外環境(敷地内)	植栽により良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー	BPI=1.06、BEI=0.78である。
LR2 資源・マテリアル	節水便器を使用している。
LR3 敷地外環境	燃焼機器を設置していない。
その他	特になし